

2001年6月21日

いすゞ『ビッグホーン』を改良し発売

いすゞ自動車(株)は、SUV『ビッグホーン』に、利便性・快適性向上の改良を施し、7月7日より全国一斉に発売する。

いすゞ『ビッグホーン』は、いすゞSUVシリーズのフラッグシップモデルとして高い評価を得てきた。

パワーユニットには直接燃料噴射式ディーゼルエンジン及びV6ガソリンエンジンを搭載し、駆動系には電子制御トルクスプリット4WDシステム(TOD=トルク・オン・ダイヤモンド)を採用(*1)するなど、高い基本性能と、上質な内外装を合わせ持つ本格派SUVとして位置づけられている。

今回の改良では、さらに利便性・快適性の高い仕様・装備を取り入れ、商品力の向上を図った。また、各グレードのポジション・特徴の明確化を図った。

主な改良点は次の通り。

- 1.ガソリンエンジンはコンピューターの高性能化(32ビット化)、燃焼タイミングの最適化、触媒の改良などにより、排出ガスをさらにクリーンにした。この結果、低排出ガス車認定制度に基づく「良-低排出ガス(平成12年基準排出ガス25%低減レベル)」を達成した。
- 2.グレード展開を、従来の5グレードから、最上級グレード「ロータスSE」、量販グレード「プレジールII」、新規設定のお買得グレード「フィールドスター」の3グレードに集約した。
- 3.ボディカラーの新色として、「サテンゴールドメタリック」「パールホワイトマイカ(*2)」の2色を採用した。
- 4.ロータスSEに、木目調パワーウィンドウベゼル(フロント/リア)を採用し、ステアリングのホーンベゼル及びインパネの木目部分と併せて、高級感・一体感を演出した。また、本革シートを標準装備した。
- 5.前席のシートバック形状、シートクッション形状と材質を見直し、ホールド性の向上と、長距離運転時の疲労軽減を図った。

6.ガソリン車にオートクルーズを標準設定し、高速道路走行などでのイージードライブを可能にした。

*1 ロータス SE 及びプレジール II に標準装備、TOD (Torque On Demand) は米国ボーグワーナー社の登録商標。

*2 有料色

<目標販売台数> ビッグホーンシリーズ全体で 300 台/月

ビッグホーン 希望小売価格 (消費税含まず)

ボディタイプ	グレード	エンジン	ミッション	乗車定員	希望小売価格 (除く北海道地区)	北海道地区 希望小売価格 (※)
ロング	ロータス SE	D	4AT/T	5名	3,880,000 円	3,905,000 円
				7名	3,905,000 円	3,930,000 円
		G	4AT/T	5名	3,863,000 円	3,863,000 円
				7名	3,888,000 円	3,888,000 円
	プレジール II	D	4AT/T	5名	3,103,000 円	3,128,000 円
				7名	3,148,000 円	3,173,000 円
		G	4AT/T	5名	3,086,000 円	3,086,000 円
				7名	3,131,000 円	3,131,000 円
	フィールドスター	D	4AT/T	5名	2,802,000 円	2,827,000 円
			5M/T	5名	2,645,000 円	2,670,000 円
		G	4AT/T	5名	2,785,000 円	2,785,000 円

◆エンジンは D=ディーゼル、G=ガソリン

※北海道地区のディーゼル車は北海道仕様 (バッテリー2個置き) が標準となります。

メーカーオプション 希望小売価格（消費税含まず）

メーカーオプション		希望小売価格	適用グレード
プレジールII スポーツパッケージ	レカロシート(シートヒーター付) スタビライザークラッチ LSD レザーパック(*1)	180,000 円	プレジールII
フィールドスター スポーツパッケージ	レカロシート(ヒーター付) スポーツサスペンション	140,000 円	フィールドスター
スペシャルカラー パッケージ	ブライトドアサッシュ フルカラーキード ・バンパー ・オーバーフェンダー ・ロッカーカバー ・サイドモール	30,000 円	プレジールII
18 インチタイヤ&アルミホイール		80,000 円	プレジールII (ロータス SE は標準)
サンルーフ		110,000 円	
LSD		32,000 円	ロータス SE
寒冷地特別パック (ディーゼルのみ)	セラミックヒーター バッテリー2 個	25,000 円	プレジールII フィールドスター
ボディカラー	パールホワイトマイカ	40,000 円	プレジールII(*2)

*1 革巻 A/T シフトノブ、革巻トランスファーレバーシフトノブ、革巻サイドブレーキレバー

*2 但し、スペシャルカラーパッケージとの同時選択が必要となります。

【商品概要】

(1)グレード展開

1.グレード展開を見直し、従来の5グレードから、新規設定の「フィールドスター」を含

む3グレードに集約した。またショートボディを廃止してロングのみとした。各グレードの主な特徴・仕様は次の通り。

グレード	ボディ	ミッション	駆動方式	主な特徴・仕様
ロータス SE	ロング	A/T	TOD	スタイリッシュな18インチタイヤ + アルミホイールの採用や、高級感のある本革シートの標準化により、プレステージ&ラグジュアリー性を高めた最上級グレード。
プレジール II			TOD	充実した装備、オーバーフェンダーによるスポーティなイメージを持つ、量販グレード。
フィールドスター 〈新規設定〉		A/T M/T	パートタイム 4WD	取り回し易いナローボディと実用面での十分な装備を備える、お買得感の高いグレード。ディーゼル車にのみM/Tの設定あり。

(2)エンジン/メカニズム

《ガソリンエンジン (6VE1型、V6、3.5L)》

- 1.ガソリンエンジンにコンピューターの高性能化(32ビット化)、燃焼タイミングの最適化を施すと共に、触媒の改良により、排出ガスのクリーン化を実現した。この結果、低排出ガス車認定制度に基づく「良-低排出ガス(平成12年基準排出ガス25%低減レベル)」を達成した。
- 2.イオンセンシング式イグニッションシステムを採用し、各気筒毎の燃焼状態を直接検知、最適な点火時期の設定を実現した。
- 3.電子制御スロットルを採用し、自然でリニアなアクセルワークを実現した。
- 4.4速オートマチックトランスミッションをフルレンジ電子制御化し、発進から高速走行にいたるまでの滑らかな変速を実現した。
- 5.エンジンヘッドカバーの一部デザインとカラーリングを変更した。

6.ロックアップクラッチに、低速時におけるスリップ制御を採用し、燃費の向上を図った。

ロータス SE の場合で、7.4km/L から 7.6km/L (10・15 モード) に向上した。

《ディーゼルエンジン (4JX1 - TC 型、直 4、3.0L) 》

1.ディーゼルエンジンのスキッドプレート部の遮音版を大型化すると共に、吸音材を追加することにより、エンジン音の静粛化を図った。

(3)内外装

1.ボディカラーの新色として、「サテンゴールドメタリック」、「パールホワイトマイカ (有料色)」の 2 色を採用した。

2.ロータス SE に、木目調パワーウィンドウベゼル (フロント/リア) を採用し、ステアリングのホーンベゼル及びインパネの木目部分と併せて、高級感・一体感を演出した。

3.ロータス SE に、本革シートを標準設定した。

4.前席のシートバック形状、シートクッション形状と材質を見直し、ホールド性の向上と、長距離運転時の疲労軽減を図った。

(4)仕様・装備

1.ガソリン車にオートクルーズを標準設定し、高速道路走行などでのイージードライブを可能にした。

2.ラゲッジルーム内に加えて、シガーライター下部にもアクセサリ用電源ソケット (ふた付) を追加設定し、予備電源需要に対応した。

3.前席側カップホルダーを大型化し、使い勝手の向上を図った。

4.後席のアームレスト先端部分に 2 個分のカップホルダーを追加設定した。

5.紫外線をカットする UV カットガラスを採用した。(フィールドスターのバックドアを除く)。さらに、ロータス SE 及びプレジール II のリアドア/リアクォーター/バックドアガラスには、エアコン効果を高める UV カット機能付熱反射ハーフミラーガラスを採用した。

6.バックドアガラスの曇り防止の熱線 (リアデフォグガー) を、右側ドアに追加設定 (従来は左側ドアのみ) し、雨天・寒冷時の視界確保を図った。

7.ロータス SE に、スタイリッシュな 18 インチ大径タイヤ + アルミホイールを標準装備した。（プレジール II にもメーカーオプションとして設定）

8.ロータス SE のサイドステップ後端を、後輪の巻き上げによる泥掛かりを防止する形状に変更した。

以上